

主題「ネット上のコミュニケーションについて」

副題～チャットの利便性と注意点～

さいたま市立大久保小学校

1、ねらい

チャットとはどのようなものかを知り、会話の特徴を考える。また、楽しく会話するにはよいのかを考える。

2、指導計画

- (1) チャットの経験の話し合い 携帯電話でのチャット体験とその内容
- (2) チャットの使用の仕方 チャットソフト（ジャストシステム）
- (3) チャットの実践
- (4) チャットについて話し合い、注意点やマナーについて
- (5) チャットの実践
- (6) 感想記入

3、授業実践

- (1) 本時のめあてとチャットの使用の仕方を知る。
 - － 1－めあて「チャットをしてみよう」
 - － 2－チャット利用方法の確認を行う。
- (2) チャットの実践を行う。
 - － 1－1回目 テーマこちらで決定し、1個のルームで本名で会話する。
 - － 2－タイピングの苦手な児童、使用の仕方がわからない児童にアドバイスをしていく。
 - － 3－2回目 ハンドルネームで会話する。
 - － 4－1回目と2回目の会話の内容を全体で見ながら確認する。
- (3) チャットについての注意点やマナーを知る。
 - － 1－スライド資料を使って、チャットの利便性を知る。
 - － 2－チャット実践を踏まえた注意点やマナー考える。
- (4) チャットの実践
 - － 1－テーマを10個用意して10個のルームにハンドルネームで会話する。
 - － 2－教師がすべてのルームに荒らし機能を入れ、匿名で個人情報を書き込みする。
- (5) 書き込みを見ながら話し合い
 - － 1－実際に書き込まれた内容を見ながら、不快な発言・個人情報の流出の危険性を気づかせる。
 - － 2－顔の見えない相手のコミュニケーションの難しさと注意点到改めて気付かせる。
- (6) 今日の授業感想を書く。
 - － 1－チャット体験を通して、ワークシートに感想を書き入れる。

4、成果と今後の課題

チャット機能を知っている、利用したことがある児童がクラスの半数を超えており利便性をよく理解していた。その反面、危険性については理解が浅いことわかった。顔が見えない相手に対しての注意点ではチャットの実践を通して児童側から注意点が上がり全体の理解が深められた。また、個人情報を特定される危険性については、具体的な事例などを挙げることで危機感を感じ、児童の表情に変化が見られたことは成果であったと思う。

しかし、個々の児童のタイピング能力や情報処理能力に差があり、全体でめあてに向かうための一斉指導の難しさを感じたため、今後の課題にしたい。